

「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」 最高位評価で格付け

～GPIFが採用する全ての日本株ESG指数構成銘柄に選定～

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊)は、このたび、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が今年から新たに採用した ESG 指数である「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)」に最高位評価となる「グループ1」で格付けされたことをお知らせします。

本指数は、ジェンダー平等に関するデータや調査・分析のプロバイダーである Equileap 社のジェンダー・イクオリティ・スコアをもとに、役員および従業員の男女均衡度、賃金の平等性、ワークライフバランス、ジェンダー平等を促進する企業ポリシーなどの観点から、対象となる 930 社がスコアに基づき 5 つのグループに区分されています。当社は 5 段階の中で最高位の「グループ1」に格付けされました。これにより、当社は GPIF が採用する日本株を対象とした6つの ESG 指数全ての構成銘柄に選定されたこととなります。

※Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)とは^(注)

米国の NASDAQ 上場大手投資調査会社の Morningstar 社が新たに設定した ESG 指数であり、「ジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業」および「ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業」に重点をおいた投資が可能になるよう設計されています。



■当社グループにおける女性活躍推進について

<位置づけ>

ダイバーシティの一層の推進および女性の活躍推進は、グループ長期経営方針「VISION 2025」に掲げている取り組みを支えるインフラであり、当社の変わらぬ基本戦略である「顧客志向の経営」を推進し、多様な顧客に満足いただく商品やサービスを提供するための経営戦略として位置付けています。また、「ダイバーシティ&インクルージョン推進取り組み方針」においても、女性活躍推進を D&I の重要なテーマと位置づけ、KPI および定性的な活動計画を定め、様々な施策を推進しています。

<女性活躍推進体制>

専任組織である D&I 推進室が女性活躍推進の取り組みを主導し、社長が委員長を務める ESG 推進委員会内の組織や取締役会での議論、女性の社外取締役への相談等により実効性を高めています。また、グループ一体となって推進するべく、グループ会社社長が参加するグループ女性活躍推進会議等で方針共有や進捗確認を定期的実施しています。

<女性活躍推進に関する定性的な活動計画>

女性活躍推進においては、以下の 2 つの軸を重視し、これらを達成するために 8 つの施策を策定し、グループ一体となって取り組んでいます。(次ページ参照)

三井不動産グループの女性活躍推進については、下記リンク先も合わせてご参照ください。

<https://www.women.mitsui-fudosan.co.jp/>

(注)Morningstar, Inc 及び/またはその関連会社(単体/グループに関らず「Morningstar」)は、三井不動産株式会社が、指定されたランキング年において、職場でのジェンダー・ダイバーシティに関して、Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除くREIT)(「インデックス」)を構成する銘柄の上位 5 分の 1 にランクされた」という事実を反映するために、三井不動産株式会社が Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト(除くREIT)・ロゴ(「ロゴ」)を使用することを承認しました。Morningstar は情報提供のみを目的として三井不動産株式会社によるロゴの使用を承認しております。三井不動産株式会社によるロゴの使用は Morningstar が三井不動産株式会社を推奨するものではなく、また、三井不動産株式会社に関連する有価証券の購入、売却、引受けを推奨、提案、勧誘するものでもありません。当インデックスは日本の職場のジェンダー・ダイバーシティを反映するようにデザインされておりますが、Morningstar は、インデックスまたはインデックスに含まれるデータの正確性、完全性、または適時性を保証しません。Morningstar はインデックス、またはロゴに関して明示的にも暗黙的にも保証を行わず、インデックス、インデックスに含まれるデータまたはロゴに関する商品性および特定の目的または使用への適合性の保証を明示的に否認します。前述のいずれにも制限することなく、いかなる場合においても、Morningstar またはその第三者のコンテンツプロバイダーは、いずれかの当事者によるインデックスまたはロゴの使用または信頼に起因する(直接的・間接的に関わらず)損害について、Morningstar が当該損害の可能性について認識していたとしても、いかなる責任も負わないものとします。Morningstar の名前、インデックス名、およびロゴは、Morningstar, Inc の商標またはサービスマークです。過去のパフォーマンスは、将来の結果を保証するものではありません。

・女性活躍推進に関する8つの施策

1. 性別に関わらず育児・介護等を含め多様なライフスタイルや価値観を尊重し合い、長く働き続けられる環境整備
 - ①組織・上司の意識改革(アンコンシャスバイアス研修等)
 - ②育児・介護との両立支援(制度拡充・徹底、研修実施、男性育休取得促進等)
 - ③リターンエントリー制度
 - ④職種・職域に応じた柔軟な勤務形態
2. 女性活躍を推進する上での組織の意識改革ならびに本人のモチベーション向上・キャリア形成支援
 - ⑤組織・上司の意識改革(D&I 研修等)
 - ⑥女性従業員へのメンター・スポンサー制度
 - ⑦女性活躍推進ワーキンググループ組成
 - ⑧社内での交流促進イベント

■当社グループの女性活躍に関する企業選定・銘柄取得について

<なでしこ銘柄に2年連続で選定>

当社は、女性活躍推進に関する各種取り組みが評価され、女性活躍推進に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「なでしこ銘柄」に2年連続で選定されています。当社の価値創造の根幹である“街づくり”に多様な価値観を取り込むための戦略と結びついた体制や各種取り組みが評価され、選定にいたしました。



<「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」に6年連続で選定>

当社は、性別多様性に優れた企業で構成される株価指数「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に6年連続で選定されています。

MSCI 日本株女性活躍指数(WIN) <https://www.msci.com/msci-japan-empowering-women-index-jp>

<GPIF が採用する日本株を対象とした6つの ESG 指数全てに選定>

「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」、「Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数(除く REIT)」に加えて、「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」、「S&P/JPX カーボンエフィシエント指数」、「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」にも選定されており、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が投資判断基準として採用する日本株を対象とした6つの ESG 指数全てに選定されています。

GPIF の ESG 投資 <https://www.gpif.go.jp/esg-stw/esginvestments/>

■三井不動産グループのSDGsへの貢献について https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」、2023 年 3 月には「生物多様性」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

・「生物多様性方針を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2023/0413/>

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 2 つの目標に貢献しています。

目標5 ジェンダー平等を実現しよう

目標8 働きがいも経済成長も

